

変更前	変更後	変更理由
<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>附則（<a href="#">令和3年2月22日 原規規発第2102222号</a>） （施行期日） 第1条 この規定は、<a href="#">令和3年3月4日から</a>施行する。</p> <p>附則（令和3年2月2日 原規規発第2102022号） （施行期日） 第1条 この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>（省略）</p>	<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>附則（<a href="#">_____</a>） （施行期日） 第1条 この規定は、<a href="#">原子力規制委員会の認可を受けた日から10日以内に</a>施行する。</p> <p>附則（令和3年2月2日 原規規発第2102022号） （施行期日） 第1条 この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>（省略）</p>	

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第1編）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>添付2 管理対象区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>添付2 管理対象区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>瓦礫類、伐採木一時保管エリアの解除及び設定に伴う変更</p>

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
附 則	附 則	
<p>附則 (令和3年2月22日 原規規発第 2102222 号)            (施行期日)            第1条            この規定は、<u>令和3年3月4日から</u>施行する。</p> <p>附則 (令和3年2月2日 原規規発第 2102022 号)            (施行期日)            第1条            この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>(省略)</p>	<p>附則 ( _____ )            (施行期日)            第1条            この規定は、<u>原子力規制委員会の認可を受けた日から10日以内に</u>施行する。</p> <p>附則 (令和3年2月2日 原規規発第 2102022 号)            (施行期日)            第1条            この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>(省略)</p>	

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第2編）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>添付2 管理対象区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>添付2 管理対象区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>瓦礫類、伐採木一時保管エリアの解除及び設定に伴う変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（Ⅲ第3編 2.1 放射性廃棄物等の管理）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>2.1.1 放射性固体廃棄物等の管理</p> <p>2.1.1.3 対象となる放射性固体廃棄物等と管理方法 (中略)</p> <p>(2) 運用 (中略)</p> <p>b. 事故後に発生した瓦礫等</p> <p>(a) 瓦礫類 (中略)</p> <p>iv. 貯蔵能力 2020年3月現在の瓦礫類の一時保管エリアの保管容量は、約439,100m<sup>3</sup>であり、保管量は、約290,900m<sup>3</sup>である。また、2023年3月においては、保管容量約424,600m<sup>3</sup>に対して、想定保管量は、約395,400m<sup>3</sup>と見込んでおり、2023年3月までの保管容量は総量として確保されるものとする。 (中略)</p> <p>(c) 使用済保護衣等 (中略)</p> <p>iii. 貯蔵能力 2020年3月現在の使用済保護衣等の一時保管エリアの保管容量は、約74,500m<sup>3</sup>であり、保管量は、約46,400m<sup>3</sup>である。また、2023年3月においては、保管容量約74,500m<sup>3</sup>に対して、想定保管量は、約17,000m<sup>3</sup>と見込んでおり、2023年3月までの保管容量は確保されるものとする。 (中略)</p>	<p>2.1.1 放射性固体廃棄物等の管理</p> <p>2.1.1.3 対象となる放射性固体廃棄物等と管理方法 (中略)</p> <p>(2) 運用 (中略)</p> <p>b. 事故後に発生した瓦礫等</p> <p>(a) 瓦礫類 (中略)</p> <p>iv. 貯蔵能力 2020年3月現在の瓦礫類の一時保管エリアの保管容量は、約439,100m<sup>3</sup>であり、保管量は、約290,900m<sup>3</sup>である。また、2023年3月においては、保管容量約438,800m<sup>3</sup>に対して、想定保管量は、約395,400m<sup>3</sup>と見込んでおり、2023年3月までの保管容量は総量として確保されるものとする。 (中略)</p> <p>(c) 使用済保護衣等 (中略)</p> <p>iii. 貯蔵能力 2020年3月現在の使用済保護衣等の一時保管エリアの保管容量は、約74,500m<sup>3</sup>であり、保管量は、約46,400m<sup>3</sup>である。また、2023年3月においては、保管容量約58,700m<sup>3</sup>に対して、想定保管量は、約17,000m<sup>3</sup>と見込んでおり、2023年3月までの保管容量は確保されるものとする。 (中略)</p>	<p>使用済保護衣等一時保管エリアから瓦礫類一時保管エリアへの変更に伴う記載変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（Ⅲ第3編 2.1 放射性廃棄物等の管理）

表 2.1.1-1-1 一時保管エリアの保管容量，受入目安表面線量率一覧表【瓦礫類】

エリア名称	保管物	保管容量 (約m <sup>3</sup> )	受入目安表面線量率 (mSv/h)
固体廃棄物貯蔵庫 (第1棟)	瓦礫類	600	0.1
固体廃棄物貯蔵庫 (第2棟)	瓦礫類	3,200	5
固体廃棄物貯蔵庫 (第3～第8棟)	瓦礫類	15,000	>30
固体廃棄物貯蔵庫第9棟 地下2階	瓦礫類	15,300	>30
固体廃棄物貯蔵庫第9棟 地下1階	瓦礫類	15,300	30
固体廃棄物貯蔵庫第9棟 地上1階	瓦礫類	15,300	1
一時保管エリアA1	瓦礫類	※1 (ケース1) 2,400 (ケース2) 4,300	※1 (ケース1) 30 (ケース2) 0.01
一時保管エリアA2	瓦礫類	※1 (ケース1) 4,700 (ケース2) 9,500	※1 (ケース1) 30 (ケース2) 0.005
一時保管エリアB	瓦礫類	5,300	0.01
一時保管エリアC	瓦礫類	67,000	0.01 (31,000m <sup>3</sup> 分) 0.025 (35,000m <sup>3</sup> 分) 0.1 (1,000m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアD	瓦礫類	4,500	0.09 (2,400m <sup>3</sup> 分) 0.3 (2,100m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアE1	瓦礫類	16,000	1
一時保管エリアE2	瓦礫類	1,800	10
一時保管エリアF1	瓦礫類	650	10
一時保管エリアF2	瓦礫類	7,500	0.1
一時保管エリアJ	瓦礫類	8,000	0.005
一時保管エリアL	瓦礫類	16,000	30
一時保管エリアN	瓦礫類	10,000	0.1
一時保管エリアO	瓦礫類	51,400	0.01 (27,500m <sup>3</sup> 分) 0.1 (23,900m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアP1	瓦礫類	85,000	0.1
一時保管エリアP2	瓦礫類	9,000	1
一時保管エリアQ	瓦礫類	6,100	5
一時保管エリアU	瓦礫類	750	0.015 (310m <sup>3</sup> 分), 0.020 (110m <sup>3</sup> 分), 0.028 (330m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアV	瓦礫類	6,000	0.1
一時保管エリアW	瓦礫類	29,300	1
一時保管エリアX	瓦礫類	12,200	1
一時保管エリアAA	瓦礫類	36,400	0.001

表 2.1.1-1-1 一時保管エリアの保管容量，受入目安表面線量率一覧表【瓦礫類】

エリア名称	保管物	保管容量 (約m <sup>3</sup> )	受入目安表面線量率 (mSv/h)
固体廃棄物貯蔵庫 (第1棟)	瓦礫類	600	0.1
固体廃棄物貯蔵庫 (第2棟)	瓦礫類	3,200	5
固体廃棄物貯蔵庫 (第3～第8棟)	瓦礫類	15,000	>30
固体廃棄物貯蔵庫第9棟 地下2階	瓦礫類	15,300	>30
固体廃棄物貯蔵庫第9棟 地下1階	瓦礫類	15,300	30
固体廃棄物貯蔵庫第9棟 地上1階	瓦礫類	15,300	1
一時保管エリアA1	瓦礫類	※1 (ケース1) 2,400 (ケース2) 4,300	※1 (ケース1) 30 (ケース2) 0.01
一時保管エリアA2	瓦礫類	※1 (ケース1) 4,700 (ケース2) 9,500	※1 (ケース1) 30 (ケース2) 0.005
一時保管エリアB	瓦礫類	5,300	0.01
一時保管エリアC	瓦礫類	67,000	0.01 (31,000m <sup>3</sup> 分) 0.025 (35,000m <sup>3</sup> 分) 0.1 (1,000m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアD	瓦礫類	4,500	0.09 (2,400m <sup>3</sup> 分) 0.3 (2,100m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアE1	瓦礫類	16,000	1
一時保管エリアE2	瓦礫類	1,800	10
一時保管エリアF1	瓦礫類	650	10
一時保管エリアF2	瓦礫類	7,500	0.1
一時保管エリアJ	瓦礫類	8,000	0.005
一時保管エリアL	瓦礫類	16,000	30
一時保管エリアN	瓦礫類	10,000	0.1
一時保管エリアO	瓦礫類	51,400	0.01 (27,500m <sup>3</sup> 分) 0.1 (23,900m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアP1	瓦礫類	85,000	0.1
一時保管エリアP2	瓦礫類	9,000	1
一時保管エリアU	瓦礫類	750	0.015 (310m <sup>3</sup> 分), 0.020 (110m <sup>3</sup> 分), 0.028 (330m <sup>3</sup> 分)
一時保管エリアV	瓦礫類	6,000	0.1
一時保管エリアW	瓦礫類	29,300	1
一時保管エリアX	瓦礫類	12,200	1
一時保管エリアAA	瓦礫類	36,400	0.001
一時保管エリアd	瓦礫類	1,170	0.1
一時保管エリアe	瓦礫類	6,660	0.1
一時保管エリアm	瓦礫類	3,060	1
一時保管エリアn	瓦礫類	3,330	1

記載の適正化

瓦礫類一時保管エリアの解除に伴い削除

使用済保護衣等一時保管エリアから瓦礫類一時保管エリアへの変更に伴い新規記載

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（Ⅲ第3編 2.1 放射性廃棄物等の管理）

変更前				変更後				変更理由
表2.1.1-1-3 一時保管エリアの保管容量，受入目安表面線量率一覧表 【使用済保護衣等】				表2.1.1-1-3 一時保管エリアの保管容量，受入目安表面線量率一覧表 【使用済保護衣等】				使用済保護衣等一時保管エリアから瓦礫類一時保管エリアへの変更に伴い削除
エリア名称	保管物	保管容量（約m3）	受入目安表面線量率（mSv/h）	エリア名称	保管物	保管容量（約m3）	受入目安表面線量率（mSv/h）	
一時保管エリアa	使用済保護衣等	4,400	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアa	使用済保護衣等	4,400	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアb	使用済保護衣等	4,600	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアb	使用済保護衣等	4,600	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアc	使用済保護衣等	900	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアc	使用済保護衣等	900	バックグラウンド線量率と同等以下	
<del>一時保管エリアd</del>	<del>使用済保護衣等</del>	<del>1,300</del>	<del>バックグラウンド線量率と同等以下</del>	一時保管エリアf	使用済保護衣等	2,200	バックグラウンド線量率と同等以下	
<del>一時保管エリアe</del>	<del>使用済保護衣等</del>	<del>7,400</del>	<del>バックグラウンド線量率と同等以下</del>	一時保管エリアg	使用済保護衣等	6,200	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアf	使用済保護衣等	2,200	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアi	使用済保護衣等	22,200	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアg	使用済保護衣等	6,200	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアj	使用済保護衣等	1,600	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアi	使用済保護衣等	22,200	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアk	使用済保護衣等	5,100	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアj	使用済保護衣等	1,600	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアl	使用済保護衣等	6,700	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアk	使用済保護衣等	5,100	バックグラウンド線量率と同等以下	一時保管エリアo	使用済保護衣等	4,800	バックグラウンド線量率と同等以下	
一時保管エリアl	使用済保護衣等	6,700	バックグラウンド線量率と同等以下					
<del>一時保管エリアm</del>	<del>使用済保護衣等</del>	<del>3,400</del>	<del>バックグラウンド線量率と同等以下</del>					
<del>一時保管エリアn</del>	<del>使用済保護衣等</del>	<del>3,700</del>	<del>バックグラウンド線量率と同等以下</del>					
一時保管エリアo	使用済保護衣等	4,800	バックグラウンド線量率と同等以下					

変更前	変更後	変更理由
 <p>図 2.1.1-1 一時保管エリア配置図</p>	 <p>図 2.1.1-1 一時保管エリア配置図</p>	<p>瓦礫等一時保管エリアの解除 及び変更に伴い変更</p>



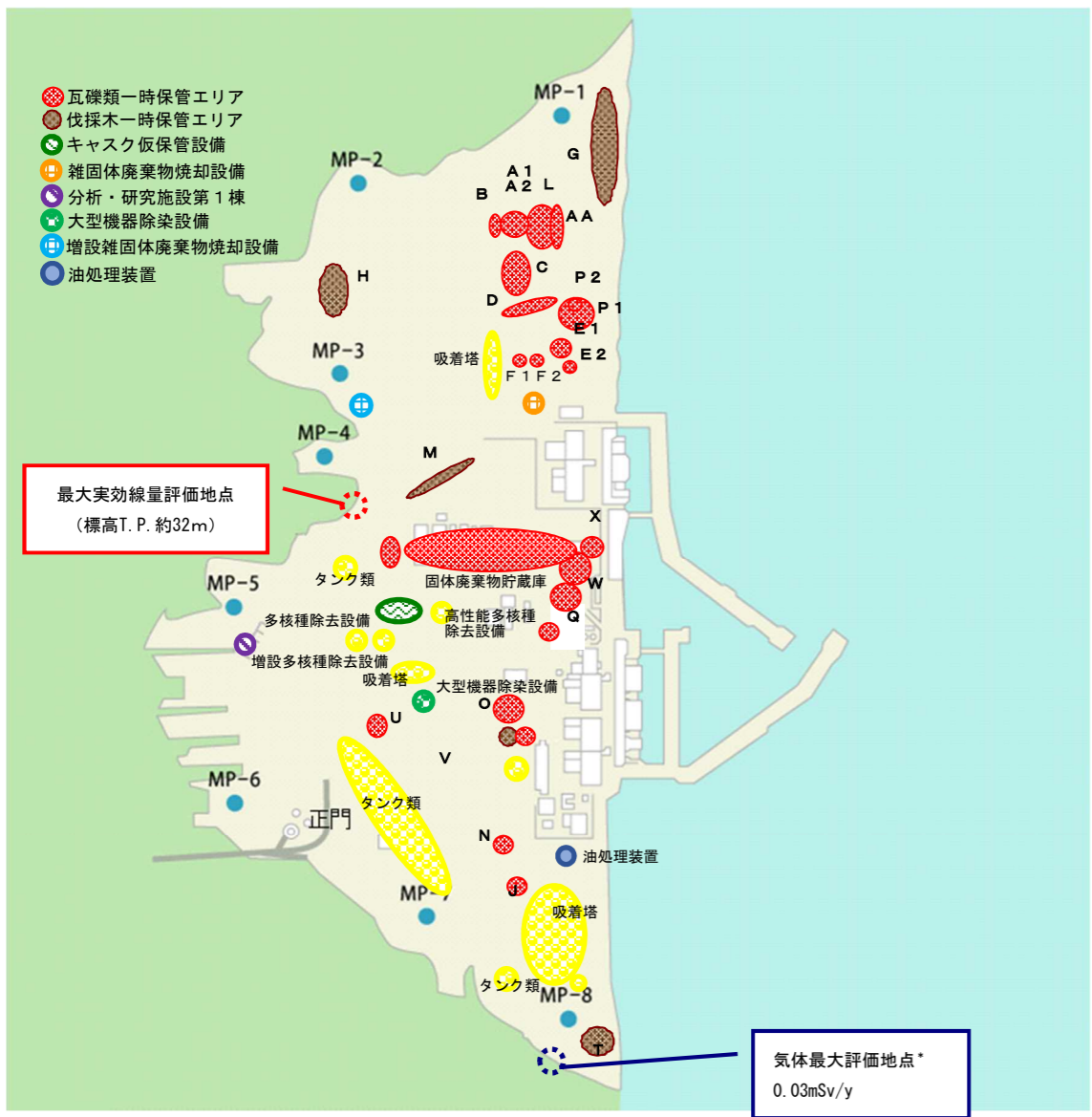
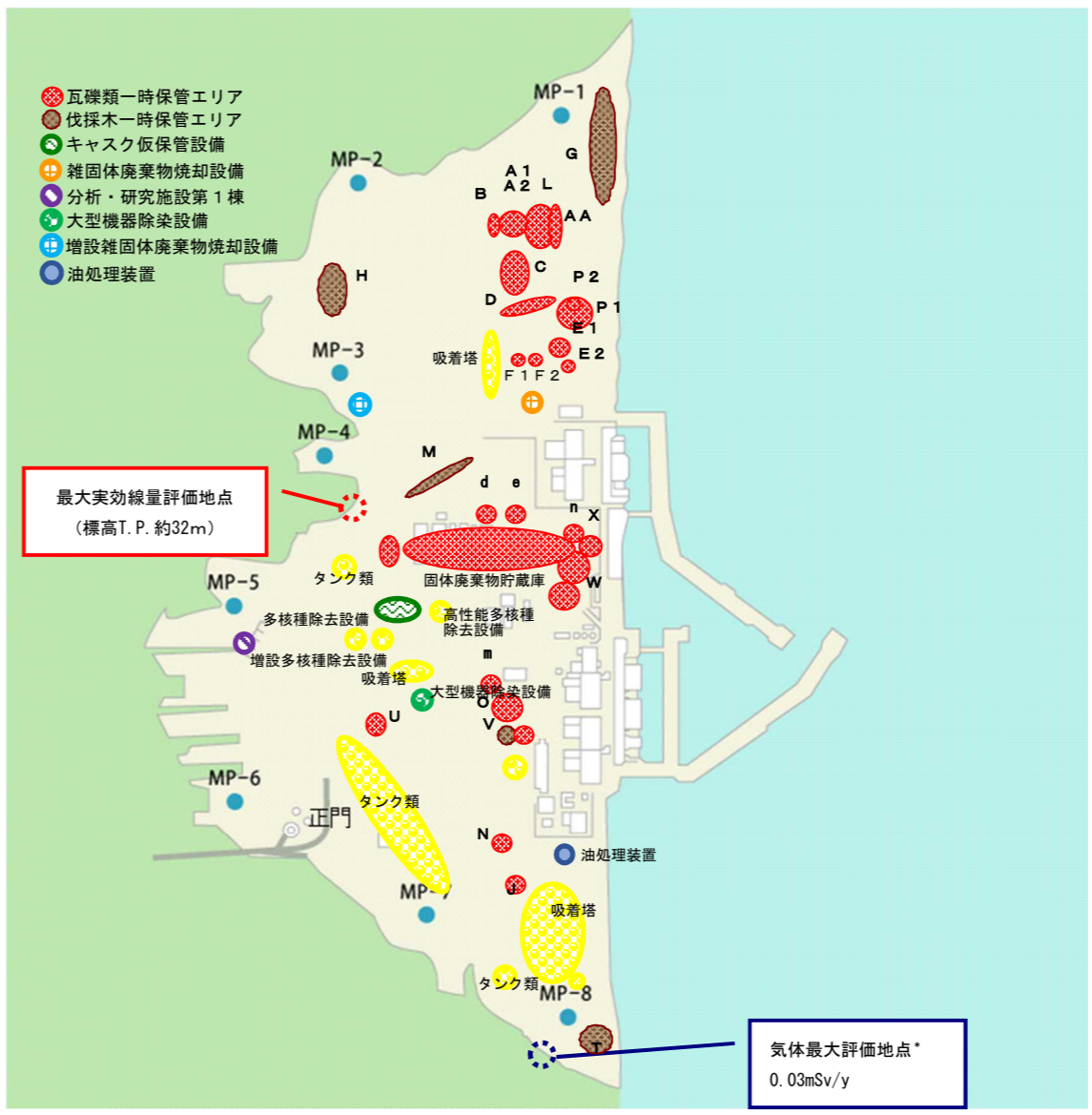
変更前	変更後	変更理由
<div data-bbox="172 216 1145 604" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="418 642 931 678" data-label="Caption"> <p>図 2.1.1-2-1 瓦礫類の想定保管量</p> </div> <div data-bbox="124 705 1175 1423" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="65 1486 1276 1696" data-label="Text"> <p>※ 1 固体廃棄物貯蔵庫第9棟の一部に放射性固体廃棄物を保管することによる減少          ※ 2 2020年度末に一時保管エリアQを解除予定。超過分は上位の線量区分へ移動させることで、保管容量の超過を回避          ※ 固体廃棄物貯蔵庫第9棟の保管容量は容器収納での保管を前提に、8,400m<sup>3</sup>/階で想定</p> <p>図 2.1.1-2-2 瓦礫類の線量区分毎の想定保管量と保管容量の比較</p> </div>	<div data-bbox="1409 216 2383 604" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1635 642 2148 678" data-label="Caption"> <p>図 2.1.1-2-1 瓦礫類の想定保管量</p> </div> <div data-bbox="1329 768 2448 1438" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1291 1497 2507 1749" data-label="Text"> <p>※ 1 固体廃棄物貯蔵庫第9棟の一部に放射性固体廃棄物を保管することによる減少及び使用済保護衣等一時保管エリアd,eを瓦礫類一時保管エリアd,eへ変更することによる増加          ※ 2 使用済保護衣等一時保管エリアm,nを瓦礫類一時保管エリアm,nへ変更することによる増加          ※ 3 2020年度末に一時保管エリアQを解除。超過分は上位の線量区分へ移動させることで、保管容量の超過を回避          ※ 固体廃棄物貯蔵庫第9棟の保管容量は容器収納での保管を前提に、8,400m<sup>3</sup>/階で想定</p> <p>図 2.1.1-2-2 瓦礫類の線量区分毎の想定保管量と保管容量の比較</p> </div>	<p>瓦礫等一時保管エリアの解除及び変更に伴い変更</p>

変更前	変更後	変更理由																																																																																																																												
<p>図 2.1.1-2-4 使用済保護衣等の想定保管量と保管容量の比較</p> <p>表 2.1.1-2-2 保管容量の内訳（瓦礫等） 単位：m<sup>3</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">瓦礫類</th> <th colspan="2">伐採木</th> <th rowspan="2">使用済保護衣等</th> <th rowspan="2">合計<sup>※2</sup></th> </tr> <tr> <th>幹根</th> <th>枝葉根</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年度末(実績)</td> <td>439,100</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>74,500</td> <td>689,200</td> </tr> <tr> <td>2020年度末累計</td> <td>439,100</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>74,500</td> <td>689,200</td> </tr> <tr> <td>2021年度末累計</td> <td>424,600</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>74,500</td> <td>674,700</td> </tr> <tr> <td>2022年度末累計</td> <td>424,600</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>74,500</td> <td>674,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.1.1-2-4 保管容量の内訳（瓦礫類線量区分） 単位：m<sup>3</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>線量区分</th> <th>≦0.1mSv/h</th> <th>≦1mSv/h</th> <th>≦30mSv/h</th> <th>&gt;30mSv/h</th> <th>合計<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年度末(実績)</td> <td>300,150</td> <td>79,400</td> <td>36,150</td> <td>23,400</td> <td>439,100</td> </tr> <tr> <td>2020年度末累計</td> <td>300,150</td> <td>79,400</td> <td>36,150</td> <td>23,400</td> <td>439,100</td> </tr> <tr> <td>2021年度末累計</td> <td>291,750</td> <td>79,400</td> <td>30,050</td> <td>23,400</td> <td>424,600</td> </tr> <tr> <td>2022年度末累計</td> <td>291,750</td> <td>79,400</td> <td>30,050</td> <td>23,400</td> <td>424,600</td> </tr> </tbody> </table>		瓦礫類	伐採木		使用済保護衣等	合計 <sup>※2</sup>	幹根	枝葉根	2019年度末(実績)	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200	2020年度末累計	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200	2021年度末累計	424,600	128,000	47,600	74,500	674,700	2022年度末累計	424,600	128,000	47,600	74,500	674,700	線量区分	≦0.1mSv/h	≦1mSv/h	≦30mSv/h	>30mSv/h	合計 <sup>※2</sup>	2019年度末(実績)	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100	2020年度末累計	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100	2021年度末累計	291,750	79,400	30,050	23,400	424,600	2022年度末累計	291,750	79,400	30,050	23,400	424,600	<p>図 2.1.1-2-4 使用済保護衣等の想定保管量と保管容量の比較</p> <p>※ 使用済保護衣等一時保管エリア d, e, m, n を瓦礫類一時保管エリア d, e, m, n へ変更することによる減少</p> <p>表 2.1.1-2-2 保管容量の内訳（瓦礫等） 単位：m<sup>3</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">瓦礫類</th> <th colspan="2">伐採木</th> <th rowspan="2">使用済保護衣等</th> <th rowspan="2">合計<sup>※2</sup></th> </tr> <tr> <th>幹根</th> <th>枝葉根</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年度末(実績)</td> <td>439,100</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>74,500</td> <td>689,200</td> </tr> <tr> <td>2020年度末累計</td> <td>439,100</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>74,500</td> <td>689,200</td> </tr> <tr> <td>2021年度末累計</td> <td>438,800</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>58,700</td> <td>673,100</td> </tr> <tr> <td>2022年度末累計</td> <td>438,800</td> <td>128,000</td> <td>47,600</td> <td>58,700</td> <td>673,100</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.1.1-2-4 保管容量の内訳（瓦礫類線量区分） 単位：m<sup>3</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>線量区分</th> <th>≦0.1mSv/h</th> <th>≦1mSv/h</th> <th>≦30mSv/h</th> <th>&gt;30mSv/h</th> <th>合計<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年度末(実績)</td> <td>300,150</td> <td>79,400</td> <td>36,150</td> <td>23,400</td> <td>439,100</td> </tr> <tr> <td>2020年度末累計</td> <td>300,150</td> <td>79,400</td> <td>36,150</td> <td>23,400</td> <td>439,100</td> </tr> <tr> <td>2021年度末累計</td> <td>299,580</td> <td>85,790</td> <td>30,050</td> <td>23,400</td> <td>438,800</td> </tr> <tr> <td>2022年度末累計</td> <td>299,580</td> <td>85,790</td> <td>30,050</td> <td>23,400</td> <td>438,800</td> </tr> </tbody> </table>		瓦礫類	伐採木		使用済保護衣等	合計 <sup>※2</sup>	幹根	枝葉根	2019年度末(実績)	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200	2020年度末累計	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200	2021年度末累計	438,800	128,000	47,600	58,700	673,100	2022年度末累計	438,800	128,000	47,600	58,700	673,100	線量区分	≦0.1mSv/h	≦1mSv/h	≦30mSv/h	>30mSv/h	合計 <sup>※2</sup>	2019年度末(実績)	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100	2020年度末累計	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100	2021年度末累計	299,580	85,790	30,050	23,400	438,800	2022年度末累計	299,580	85,790	30,050	23,400	438,800	<p>使用済保護衣等一時保管エリアから瓦礫類一時保管エリアへの変更に伴い変更</p> <p>瓦礫等一時保管エリアの解除及び変更に伴い変更</p>
			瓦礫類	伐採木			使用済保護衣等	合計 <sup>※2</sup>																																																																																																																						
	幹根	枝葉根																																																																																																																												
2019年度末(実績)	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200																																																																																																																									
2020年度末累計	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200																																																																																																																									
2021年度末累計	424,600	128,000	47,600	74,500	674,700																																																																																																																									
2022年度末累計	424,600	128,000	47,600	74,500	674,700																																																																																																																									
線量区分	≦0.1mSv/h	≦1mSv/h	≦30mSv/h	>30mSv/h	合計 <sup>※2</sup>																																																																																																																									
2019年度末(実績)	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100																																																																																																																									
2020年度末累計	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100																																																																																																																									
2021年度末累計	291,750	79,400	30,050	23,400	424,600																																																																																																																									
2022年度末累計	291,750	79,400	30,050	23,400	424,600																																																																																																																									
	瓦礫類	伐採木		使用済保護衣等	合計 <sup>※2</sup>																																																																																																																									
		幹根	枝葉根																																																																																																																											
2019年度末(実績)	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200																																																																																																																									
2020年度末累計	439,100	128,000	47,600	74,500	689,200																																																																																																																									
2021年度末累計	438,800	128,000	47,600	58,700	673,100																																																																																																																									
2022年度末累計	438,800	128,000	47,600	58,700	673,100																																																																																																																									
線量区分	≦0.1mSv/h	≦1mSv/h	≦30mSv/h	>30mSv/h	合計 <sup>※2</sup>																																																																																																																									
2019年度末(実績)	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100																																																																																																																									
2020年度末累計	300,150	79,400	36,150	23,400	439,100																																																																																																																									
2021年度末累計	299,580	85,790	30,050	23,400	438,800																																																																																																																									
2022年度末累計	299,580	85,790	30,050	23,400	438,800																																																																																																																									

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表 (Ⅲ第3編 2.2 線量評価)

変更前	変更後	変更理由
<p>2.2.2 敷地内各施設からの直接線ならびにスカイシャイン線による実効線量                  2.2.2.2 各施設における線量評価                  2.2.2.2.2 瓦礫類一時保管エリア</p> <p>(中略)</p> <p><u>(16) 一時保管エリアQ</u>  <u>貯蔵容量：約6,100m<sup>3</sup></u>  <u>エリア面積：約1,700m<sup>2</sup></u>  <u>積上げ高さ：約3.6m</u>  <u>表面線量率：5mSv/時(未保管)</u>  <u>評価点までの距離：約770m</u>  <u>線源の標高：T.P.約33m</u>  <u>線源形状：円柱</u>  <u>かさ密度：鉄0.3g/cm<sup>3</sup></u>  <u>評価結果：約6.26×10<sup>-2</sup> mSv/年</u></p> <p><u>(17) 一時保管エリアU</u>                  (中略)</p> <p><u>(18) 一時保管エリアV</u>                  (中略)</p> <p><u>(19) 一時保管エリアW</u>                  (中略)</p> <p><u>(20) 一時保管エリアX</u>                  (中略)</p> <p><u>(21) 一時保管エリアAA</u>                  (後略)</p>	<p>2.2.2 敷地内各施設からの直接線ならびにスカイシャイン線による実効線量                  2.2.2.2 各施設における線量評価                  2.2.2.2.2 瓦礫類一時保管エリア</p> <p>(削除)</p> <p><u>(16) 一時保管エリアU</u>                  (中略)</p> <p><u>(17) 一時保管エリアV</u>                  (中略)</p> <p><u>(18) 一時保管エリアW</u>                  (中略)</p> <p><u>(19) 一時保管エリアX</u>                  (中略)</p> <p><u>(20) 一時保管エリアAA</u>                  (中略)</p> <p><u>(21) 一時保管エリアd</u>  <u>貯蔵容量：約1,170m<sup>3</sup></u>  <u>エリア面積：約260m<sup>2</sup></u>  <u>積上げ高さ：約4.5m</u>  <u>表面線量率：0.1mSv/時(未保管)</u>  <u>評価点までの距離：約370m</u>  <u>線源の標高：T.P.約44m</u>  <u>線源形状：円柱</u>  <u>かさ密度：鉄0.3g/cm<sup>3</sup></u>  <u>評価結果：約2.13×10<sup>-2</sup>mSv/年</u></p>	<p>瓦礫類一時保管エリアQの解除に伴う削除</p> <p>記載の適正化</p> <p>使用済保護衣等一時保管エリアdを瓦礫類一時保管エリアdに変更することに伴う線量評価の変更</p>

変更前	変更後	変更理由
(なし)	<p>(22) 一時保管エリア e  <u>貯蔵容量</u> : 約 6,660m<sup>3</sup>  <u>エリア面積</u> : 約 1,480m<sup>2</sup>  <u>積上げ高さ</u> : 約 4.5m  <u>表面線量率</u> : 0.1mSv/時 (未保管)  <u>評価点までの距離</u> : 約 490m  <u>線源の標高</u> : T.P. 約 43m  <u>線源形状</u> : 円柱  <u>かさ密度</u> : 鉄 0.3g/cm<sup>3</sup>  <u>評価結果</u> : 約 1.99×10<sup>-2</sup>mSv/年</p> <p>(23) 一時保管エリア m  <u>貯蔵容量</u> : 約 3,060m<sup>3</sup>  <u>エリア面積</u> : 約 680m<sup>2</sup>  <u>積上げ高さ</u> : 約 4.5m  <u>表面線量率</u> : 1mSv/時 (未保管)  <u>評価点までの距離</u> : 約 790m  <u>線源の標高</u> : T.P. 約 34m  <u>線源形状</u> : 円柱  <u>かさ密度</u> : 鉄 0.3g/cm<sup>3</sup>  <u>評価結果</u> : 約 4.12×10<sup>-3</sup>mSv/年</p> <p>(24) 一時保管エリア n  <u>貯蔵容量</u> : 約 3,330m<sup>3</sup>  <u>エリア面積</u> : 約 740m<sup>2</sup>  <u>積上げ高さ</u> : 約 4.5m  <u>表面線量率</u> : 1mSv/時 (未保管)  <u>評価点までの距離</u> : 約 780m  <u>線源の標高</u> : T.P. 約 33m  <u>線源形状</u> : 円柱  <u>かさ密度</u> : 鉄 0.3g/cm<sup>3</sup>  <u>評価結果</u> : 約 4.63×10<sup>-3</sup>mSv/年</p>	<p>使用済保護衣等一時保管エリア e を瓦礫類一時保管エリア e に変更することに伴う線量評価の変更</p> <p>使用済保護衣等一時保管エリア m を瓦礫類一時保管エリア m に変更することに伴う線量評価の変更</p> <p>使用済保護衣等一時保管エリア n を瓦礫類一時保管エリア n に変更することに伴う線量評価の変更</p>

変更前	変更後	変更理由
<p>2.2.2.3 敷地境界における線量評価結果 各施設からの影響を考慮して敷地境界線上の直接線・スカイシャイン線の評価した結果 (添付資料-4), 最大実効線量は評価地点 No. 71 において約 <u>0.59</u>mSv/年となる。</p>  <p>図 2.2.2-2 敷地境界線上の最大実効線量評価地点</p> <p>※: 1~4号機原子炉建屋 (原子炉格納容器を含む) 以外からの追加的放出は極めて少ないと考えられるため, 1~4号機原子炉建屋からの放出量により評価</p>	<p>2.2.2.3 敷地境界における線量評価結果 各施設からの影響を考慮して敷地境界線上の直接線・スカイシャイン線の評価した結果 (添付資料-4), 最大実効線量は評価地点 No. 71 において約 <u>0.58</u>mSv/年となる。</p>  <p>図 2.2.2-2 敷地境界線上の最大実効線量評価地点</p> <p>※: 1~4号機原子炉建屋 (原子炉格納容器を含む) 以外からの追加的放出は極めて少ないと考えられるため, 1~4号機原子炉建屋からの放出量により評価</p>	<p>瓦礫等一時保管エリアの解除及び変更に伴う敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果の変更</p> <p>瓦礫等一時保管エリアQの削除及び瓦礫等一時保管エリアd, e, m, nの追加</p>

変更前	変更後	変更理由																																																	
<p>2.2.2.4 添付資料</p> <p>(中略)</p> <p>添付資料-2</p> <p>瓦礫類および伐採木一時保管エリアにおける敷地境界線量評価について</p> <p>(中略)</p> <p>表1 詳細評価実施エリア</p> <table border="1" data-bbox="504 426 851 1346"> <thead> <tr> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>一時保管エリアA1 (ケース2)</td></tr> <tr><td>一時保管エリアA2 (ケース2)</td></tr> <tr><td>一時保管エリアB</td></tr> <tr><td>一時保管エリアC</td></tr> <tr><td>一時保管エリアD</td></tr> <tr><td>一時保管エリアE1</td></tr> <tr><td>一時保管エリアE2</td></tr> <tr><td>一時保管エリアF1</td></tr> <tr><td>一時保管エリアF2</td></tr> <tr><td>一時保管エリアG</td></tr> <tr><td>一時保管エリアH</td></tr> <tr><td>一時保管エリアJ</td></tr> <tr><td>一時保管エリアN</td></tr> <tr><td>一時保管エリアO</td></tr> <tr><td>一時保管エリアP1</td></tr> <tr><td>一時保管エリアP2</td></tr> <tr><td><u>一時保管エリアQ</u></td></tr> <tr><td>一時保管エリアT</td></tr> <tr><td>一時保管エリアV</td></tr> <tr><td>一時保管エリアW</td></tr> <tr><td>一時保管エリアX</td></tr> <tr><td>一時保管エリアAA</td></tr> </tbody> </table>	エリア名称	一時保管エリアA1 (ケース2)	一時保管エリアA2 (ケース2)	一時保管エリアB	一時保管エリアC	一時保管エリアD	一時保管エリアE1	一時保管エリアE2	一時保管エリアF1	一時保管エリアF2	一時保管エリアG	一時保管エリアH	一時保管エリアJ	一時保管エリアN	一時保管エリアO	一時保管エリアP1	一時保管エリアP2	<u>一時保管エリアQ</u>	一時保管エリアT	一時保管エリアV	一時保管エリアW	一時保管エリアX	一時保管エリアAA	<p>2.2.2.4 添付資料</p> <p>(中略)</p> <p>添付資料-2</p> <p>瓦礫類および伐採木一時保管エリアにおける敷地境界線量評価について</p> <p>(中略)</p> <p>表1 詳細評価実施エリア</p> <table border="1" data-bbox="1727 426 2074 1455"> <thead> <tr> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>一時保管エリアA1 (ケース2)</td></tr> <tr><td>一時保管エリアA2 (ケース2)</td></tr> <tr><td>一時保管エリアB</td></tr> <tr><td>一時保管エリアC</td></tr> <tr><td>一時保管エリアD</td></tr> <tr><td>一時保管エリアE1</td></tr> <tr><td>一時保管エリアE2</td></tr> <tr><td>一時保管エリアF1</td></tr> <tr><td>一時保管エリアF2</td></tr> <tr><td>一時保管エリアG</td></tr> <tr><td>一時保管エリアH</td></tr> <tr><td>一時保管エリアJ</td></tr> <tr><td>一時保管エリアN</td></tr> <tr><td>一時保管エリアO</td></tr> <tr><td>一時保管エリアP1</td></tr> <tr><td>一時保管エリアP2</td></tr> <tr><td>一時保管エリアT</td></tr> <tr><td>一時保管エリアV</td></tr> <tr><td>一時保管エリアW</td></tr> <tr><td>一時保管エリアX</td></tr> <tr><td>一時保管エリアAA</td></tr> <tr><td><u>一時保管エリアd</u></td></tr> <tr><td><u>一時保管エリアe</u></td></tr> <tr><td><u>一時保管エリアm</u></td></tr> <tr><td><u>一時保管エリアn</u></td></tr> </tbody> </table>	エリア名称	一時保管エリアA1 (ケース2)	一時保管エリアA2 (ケース2)	一時保管エリアB	一時保管エリアC	一時保管エリアD	一時保管エリアE1	一時保管エリアE2	一時保管エリアF1	一時保管エリアF2	一時保管エリアG	一時保管エリアH	一時保管エリアJ	一時保管エリアN	一時保管エリアO	一時保管エリアP1	一時保管エリアP2	一時保管エリアT	一時保管エリアV	一時保管エリアW	一時保管エリアX	一時保管エリアAA	<u>一時保管エリアd</u>	<u>一時保管エリアe</u>	<u>一時保管エリアm</u>	<u>一時保管エリアn</u>	<p>瓦礫類一時保管エリア Q の削除及び瓦礫類一時保管エリア d, e, m, n の追加</p>
エリア名称																																																			
一時保管エリアA1 (ケース2)																																																			
一時保管エリアA2 (ケース2)																																																			
一時保管エリアB																																																			
一時保管エリアC																																																			
一時保管エリアD																																																			
一時保管エリアE1																																																			
一時保管エリアE2																																																			
一時保管エリアF1																																																			
一時保管エリアF2																																																			
一時保管エリアG																																																			
一時保管エリアH																																																			
一時保管エリアJ																																																			
一時保管エリアN																																																			
一時保管エリアO																																																			
一時保管エリアP1																																																			
一時保管エリアP2																																																			
<u>一時保管エリアQ</u>																																																			
一時保管エリアT																																																			
一時保管エリアV																																																			
一時保管エリアW																																																			
一時保管エリアX																																																			
一時保管エリアAA																																																			
エリア名称																																																			
一時保管エリアA1 (ケース2)																																																			
一時保管エリアA2 (ケース2)																																																			
一時保管エリアB																																																			
一時保管エリアC																																																			
一時保管エリアD																																																			
一時保管エリアE1																																																			
一時保管エリアE2																																																			
一時保管エリアF1																																																			
一時保管エリアF2																																																			
一時保管エリアG																																																			
一時保管エリアH																																																			
一時保管エリアJ																																																			
一時保管エリアN																																																			
一時保管エリアO																																																			
一時保管エリアP1																																																			
一時保管エリアP2																																																			
一時保管エリアT																																																			
一時保管エリアV																																																			
一時保管エリアW																																																			
一時保管エリアX																																																			
一時保管エリアAA																																																			
<u>一時保管エリアd</u>																																																			
<u>一時保管エリアe</u>																																																			
<u>一時保管エリアm</u>																																																			
<u>一時保管エリアn</u>																																																			



福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表 (Ⅲ第3編 2.2 線量評価)

変更前			変更後			変更理由
(中略)			(中略)			
添付資料-4			添付資料-4			
敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果			敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果			
敷地境界 評価地点	評価地点 の標高 「m」	敷地内各施設からの 直接線・スカイシャイン線 「単位:mSv/年」	敷地境界 評価地点	評価地点 の標高 「m」	敷地内各施設からの 直接線・スカイシャイン線 「単位:mSv/年」	
No.1	T.P.約4	0.06	No.51	T.P.約32	0.02	
No.2	T.P.約18	0.11	No.52	T.P.約39	0.03	
No.3	T.P.約18	0.10	No.53	T.P.約39	0.16	
No.4	T.P.約19	0.18	No.54	T.P.約39	0.16	
No.5	T.P.約16	0.29	No.55	T.P.約39	0.04	
No.6	T.P.約16	0.29	No.56	T.P.約33	0.01	
No.7	T.P.約21	0.53	No.57	T.P.約39	0.02	
No.8	T.P.約16	0.31	No.58	T.P.約39	0.04	
No.9	T.P.約14	0.17	No.59	T.P.約39	0.09	
No.10	T.P.約15	0.09	No.60	T.P.約41	0.05	
No.11	T.P.約17	0.18	No.61	T.P.約42	0.02	
No.12	T.P.約17	0.14	No.62	T.P.約38	0.02	
No.13	T.P.約16	0.14	No.63	T.P.約44	0.04	
No.14	T.P.約18	0.14	No.64	T.P.約44	0.07	
No.15	T.P.約21	0.12	No.65	T.P.約41	0.14	
No.16	T.P.約26	0.11	No.66	T.P.約40	0.54	
No.17	T.P.約34	0.16	No.67	T.P.約39	0.31	
No.18	T.P.約37	0.09	No.68	T.P.約37	0.43	
No.19	T.P.約33	0.03	No.69	T.P.約36	0.27	
No.20	T.P.約37	0.04	No.70	T.P.約35	0.59	
No.21	T.P.約38	0.03	No.71	T.P.約32	0.59	
No.22	T.P.約34	0.02	No.72	T.P.約29	0.51	
No.23	T.P.約35	0.02	No.73	T.P.約29	0.24	
No.24	T.P.約38	0.03	No.74	T.P.約35	0.11	
No.25	T.P.約39	0.03	No.75	T.P.約31	0.08	
No.26	T.P.約32	0.02	No.76	T.P.約31	0.12	
No.27	T.P.約31	0.01	No.77	T.P.約15	0.41	
No.28	T.P.約39	0.03	No.78	T.P.約19	0.46	
No.29	T.P.約39	0.11	No.79	T.P.約19	0.23	
No.30	T.P.約39	0.12	No.80	T.P.約19	0.08	
No.31	T.P.約39	0.04	No.81	T.P.約35	0.12	
No.32	T.P.約31	0.01	No.82	T.P.約38	0.22	
No.33	T.P.約33	0.01	No.83	T.P.約40	0.12	
No.34	T.P.約38	0.02	No.84	T.P.約41	0.05	
No.35	T.P.約38	0.02	No.85	T.P.約37	0.03	
No.36	T.P.約39	0.05	No.86	T.P.約33	0.05	
No.37	T.P.約39	0.13	No.87	T.P.約26	0.06	
No.38	T.P.約39	0.13	No.88	T.P.約22	0.15	
No.39	T.P.約39	0.04	No.89	T.P.約20	0.34	
No.40	T.P.約32	0.01	No.90	T.P.約20	0.49	
No.41	T.P.約31	0.01	No.91	T.P.約20	0.34	
No.42	T.P.約39	0.04	No.92	T.P.約21	0.51	
No.43	T.P.約39	0.11	No.93	T.P.約20	0.53	
No.44	T.P.約39	0.11	No.94	T.P.約28	0.41	
No.45	T.P.約39	0.04	No.95	T.P.約21	0.27	
No.46	T.P.約30	0.01	No.96	T.P.約19	0.15	
No.47	T.P.約32	0.01	No.97	T.P.約15	0.06	
No.48	T.P.約39	0.03	No.98	T.P.約23	0.08	
No.49	T.P.約39	0.03	No.99	T.P.約25	0.04	
No.50	T.P.約35	0.02	No.100	T.P.約-1	0.02	
						瓦礫等一時保管エリアの解除 及び変更に伴う敷地境界にお ける直接線・スカイシャイン線 の評価結果の変更

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（Ⅲ第3編 2.2 線量評価）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>2.2.4 線量評価のまとめ</p> <p>現状の設備の運用により、気体廃棄物放出分で約0.03mSv/年、敷地内各施設からの直接線及びスカイシャイン線の線量分で約0.59mSv/年、放射性液体廃棄物等の排水分で約0.22mSv/年、構内散水した堰内雨水の処理済水のH-3を吸入摂取した場合の敷地境界の実効線量は約<math>3.3 \times 10^{-2}</math>mSv/年、構内散水した5・6号機滞留水の処理済水の地表に沈着した放射性物質からのγ線に起因する実効線量は約<math>4.2 \times 10^{-2}</math>mSv/年となり合計約0.92mSv/年となる<sup>注)</sup>。</p> <p>注) 四捨五入した数値を記載しているため、合算値が合計と合わない場合がある。</p>	<p>2.2.4 線量評価のまとめ</p> <p>現状の設備の運用により、気体廃棄物放出分で約0.03mSv/年、敷地内各施設からの直接線及びスカイシャイン線の線量分で約0.58mSv/年、放射性液体廃棄物等の排水分で約0.22mSv/年、構内散水した堰内雨水の処理済水のH-3を吸入摂取した場合の敷地境界の実効線量は約<math>3.3 \times 10^{-2}</math>mSv/年、構内散水した5・6号機滞留水の処理済水の地表に沈着した放射性物質からのγ線に起因する実効線量は約<math>4.2 \times 10^{-2}</math>mSv/年となり合計約0.91mSv/年となる<sup>注)</sup>。</p> <p>注) 四捨五入した数値を記載しているため、合算値が合計と合わない場合がある。</p>	<p>瓦礫等一時保管エリアの解除及び変更に伴う、敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果の変更</p>